

５月臨時号

令和２年５月１９日

小平市立小平第一中学校

**一中だより**

**■オンライン学習に向けた取組**

前号でGoogle classroomを使ったオンライン学習の試行に取り組む旨のお知らせをいたしました。先週1週間、各学年１クラスとI組で実施した試行を受けて、全学級における実施を決定し、本日全校生徒向けに説明をいたしました。実施にあたり保護者の皆様にご理解いただきたいことについてお伝えいたします。

**１　試行の総括について**

(成果)先生と生徒のコミュニケーションができる。生活リズムができる。学習の意欲につながる、等。

(課題)ログインできない人がいた。アプリの容量。教員全員はトラブル対応できない等。

**２　取組の趣旨について**

今回の試行を通じて、いくつかのご家庭から「双方向授業」へのご希望をいただきました。しかし現在の小平市の公立学校における通信機器の整備の状況、各ご家庭による通信環境の違いなどを考えますと、オンラインを通じてリアルタイムで授業を実施するような授業の形は、現段階では難しいと判断しました（研究は続けてまいります）。

　今回Google classroomを使って本校で実施するオンライン学習の機能は主として次の２点です。

1. **コメントを通じた先生と生徒、生徒間のコミュニケーション**

たとえば朝の決まった時間に担任の先生から「おはよう、元気ですか」と全員にコメントを送ります。生徒は一人一人「とても元気です。気分は快調です」というような返信をする。これだけのことでも、有効なコミュニケーションとなります。また、クラスの他の生徒のコメントも見られますので、疑似的な空間とはいえ、「classroom」を味わうことができます。また、そうした健康状態を尋ねる質問以外にも、今回は学年ごとに何回か質問をしてみる予定です。さらに「限定公開コメント」の機能を使うと、クラスの人には見られず、担任の先生に個人の質問や相談なども送ることができます。

1. **学習について～課題サポートの機能**

学習については、現段階では「課題サポートの機能」を担うものと考えています。週に一度の登校日に各教科、様々な課題を出していますが、まず最低限これらに関する質問を受け付ける体制をとります。「プリントの～の問題がよくわかりません」と送ってくれれば、担当の教員が説明するような形です。準備のできた教科では、たとえば学校で渡されたプリントを使って学習した後の理解度を図る効果測定の問題をオンライン上で送り、その結果を集約するようなものも考えられています。いずれにしても、現在の段階では、先生と生徒が互いの画面に映って行ういわゆる「オンライン授業」のようなものではないことはご理解ください。今回はあくまでも「課題サポート」の機能を担います。もちろん私どももこの形で完成だとは考えていませんし、今後端末や通信設備に関する貸し出しなどの施策が進むことでいわゆる「オンライン授業」に近いものが可能になっていくのではないかと思います。またこの流れと並行して、Youtubeでの授業配信の試みもいくつかの教科で始めています。様々な取組を進めながら、本校の環境でも行える、何より生徒にとってプラスになる学習の形を、引き続き研究してまいります。

**３　これからの進め方**

本日、試行クラス以外の全学級に「Google classroomマニュアル」と、個人用のアカウントを記したプリントを配布しました。各ご家庭ではマニュアルに沿って、Google classroomにログインしていただき、必要に応じて自クラスや教科のページに入って作業をしてもらうことになります。

　また、ご家庭の状況によってはこれらの活用ができる環境にない場合もあると思います。そういった場合の対応についても、一人一人の生徒に不都合が生じないよう考えてまいりますので、ご心配なさらなくても大丈夫です。

**４　ご家庭へのお願い**

私ども教員は専門家ではないため、実施に向けて手探りで一歩ずつ進めている状況です。試行の際にもお願い申しましたが、使い方に関わるご質問等について、逐一適切なご回答をすることは難しいことをご理解ください。試行クラスでもうまくいかないケースがいくつかありましたが、本日実際に聞き取りを行いながら対応をしているところです。本日全校展開していく中でも様々学校ケースが想定されます。ログインの履歴がない際にこちらからお電話したりする場合もありますが、基本的には次の登校日の際にお子さんが申し出て下されば対応できるようにしてまいりたいと思います。

なお、本日生徒向けの説明で使用した動画についてはご家庭でもご覧いただけるようにしております。学校ホームページ上にリンクを張りますので必要に応じてご覧くださいますようお願いいたします。